

## 第 88 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

### 議事概要

日 時：令和 3 年 4 月 10 日(土)17:30~18:30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

#### ○ 会議の概要

##### <報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。
- ◇ 変異株の確認、ワクチン接種に関する状況等について、各本部員から報告があった。
- ◇ 経済対策関係団体会議、新型コロナウイルス感染症専門家会議について報告があった。

##### <議題>

- ◇ 「まん延防止等重点措置」の実施について、その内容を議論した。
- ◇ まん延防止等重点措置区域を本島 9 市とすること、9 市以外の全市町村を含め、飲食店の営業時間を午前 5 時から午後 8 時までの時短要請を行う等、「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対処方針を決定した。

#### 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、照屋 副知事、島袋 政策調整監、金城 知事公室長、池田 総務部長、宮城 企画部長、松田 環境部長、日下 県警本部長、大城 保健医療部長、名渡山 子ども生活福祉部長、崎原 農林水産部長、島袋 土木建築部長、嘉数 商工労働部、宮城 文化観光スポーツ部、大城 会計管理者、金城 教育長、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、諸見里 医療企画統括監、糸数 保健衛生統括監、木村宮古兼八重山保健所長、中部病院 高山医師

#### 2 報告事項

(1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から最新の新規陽性者及び療養者の状況について報告

##### 【資料 1】

- ✓ 4/10 の新規発生は 146 名、合計 10611 名、入院中 349 名、うち重症

5名、うち中等症122名、入院調整中268名、宿泊施設療養中151名、自宅療養410名で療養中患者計1,178名となっている。

- 病院事業局から県立病院に入院している患者の状況等について報告
  - ✓ 県立病院全体で4/9時点で58名入院しており、前回の報告より4名の増加である。確保病床の41.4%を占めている。
  - ✓ 北部病院が26名、中部病院12名、南部医療センター6名、宮古病院7名、八重山病院2名、精和病院5名となっている。
  - ✓ 北部病院では26人が入院し感染が拡大している。(先週4/2時点16人)  
コロナ病床を20床から43床に増床して対応している。また、変異株が10人で確定した。
  - ✓ 南部医療センターでは、まん延防止等重点措置が適用される場合、実習生、業務応援者の病院立ち入りにPCR陰性証明書を義務づけるべきか検討を進めている。
  - ✓ 宮古病院では、連日1~3名発生しており、接待業、飲食関係が目立っている。
  - ✓ 精和病院では5人が入院中。満床の場合は、新たに3床を準備し軽症患者を受け入れる予定。

- (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について
  - 総括情報部から、米軍基地内における発生状況について報告。【資料2】
  - 4/10時点、米軍基地内で1名、嘉手納基地で従業員1名発生。
- (3) 沖縄県内及び全国の感染状況について【資料3、3-1~3-8】
  - 総括情報部から、警戒レベル判断指標の状況や各種分析資料について報告。
  - 警戒レベルの判断指標の状況のうち、療養者数は1178人、新規感染者数は146人で、4日連続100名を超えている。
  - 病床占有率は98%となっており、かなりひっ迫している。
  - 感染経路不明な症例の割合も高くなっており、63.5%となっている。
  - 国の判断指標では、療養者数、病床占有率、重傷者病床占有率、新規感染者数いずれもステージⅣ相当となっており、全体的にステージⅣが増えてきている。
  - 非コロナ病床の利用状況は、沖縄本島の一般病床利用率が93.2%と、90%台前半で推移しているため、各医療機関には医療フェーズⅤの病床確保をお願いしている。

- 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規感染者数は 53.95 人で、大阪に次いで全国でワースト 2 位となっている。大阪は変異株の割合が高くなっており、その動向を注視する必要がある。
  - 各保健所管内の圏域ごとの状況では、中部保健所管内が 278 人、南部保健所管内が 231 人、那覇保健所管内が 218 人、そして北部保健所管内が 39 人と、前週に比べ約 2 倍増となっている。
  - 警戒レベル指標の 1 週間ごとの状況の推移を見ると、新規感染者数が過去一番多い水準になっている。療養者数においても 8 月に匹敵するなど厳しい状況となっている。
  - 新規感染者に占める 60 歳以上の割合は 13.2% と高くはないが、全体の数が増えているため、実数は増えている。
  - 重症・中等症患者は徐々に増加傾向にある。
- (4) 宿泊施設の運用状況について【資料 4】
- 総括情報部から、宿泊療養施設の入居状況等について報告。
    - ✓ 那覇市は 2 カ所が稼働しており、リゾネックス那覇が 47 人、東横イン旭橋駅前が 90 人療養している。
    - ✓ ピースアイランド宮古島には 6 人、アパホテル石垣にも療養者がいる。
- (5) 沖縄県人口変動状況について【資料 5】
- 総括情報部から、KDDI Location Analyzer による分析結果を報告。
    - ✓ 配布資料の通りであり、説明を省略した。
- (6) クラスターの発生状況について
- 総括情報部から、最近確認されたクラスターの状況等について報告。
    - ✓ 保健所の対応が間に合っておらず、クラスターの報告がまだ届いていない状況であるが、クラスターと推測される事例もある。
- (7) 宮古・八重山地域の感染状況について【資料 6】
- 総括情報部から、宮古・八重山の感染状況について報告。
    - ✓ 医療フェーズは 4/3 から IV に引き上げている。
    - ✓ 宮古島市の新規感染者数は 3/29 以降、ほぼ毎日 2, 3 人陽性者が確認されている。
    - ✓ 八重山はしばらく 0, 1 人が続いていたが、4/9, 4/10 と 3 人ずつ発生している。若い重症感がある方も増えてきている。
- (8) 変異株について【資料 7】
- 総括情報部から、変異株の解析状況及び患者発生状況について報告。
    - ✓ 県衛生環境研究所で行っている N501Y のスクリーニング検査について、昨日 4/9 の報告で、検査数 83 のうち 20 例の陽性が確認された。

20 例のうち 15 例が北部地域。

- ✓ その他民間機関の検査においても 20 例のうち 6 例の変異株が確認され、公表を行ったところ。
- ✓ 国立感染症研究所で行った検査で「精査中」だったものが、L452R というアメリカカリフォルニア州等で見ついている種であることが判明して公表を行っている。検疫以外では国内初確認。

(9) ワクチン対策チーム進捗状況について【資料 8】

- 総括情報部から、医療従事者向け進捗状況と、住民向け進捗状況について報告。
  - ✓ 医療従事者向けのワクチンは、第 1 弾から第 3 弾までで合計 49,920 人分で、対象者数の 87%に行きわたることになる。4 月 9 日時点の接種は 23,945 回が終了している。2 回目は副反応が強く、仕事を休む方が多い、という報告を受けている。
  - ✓ 住民向け接種状況は、週明け 4/12 宮古島のグループホーム、4/15 うるま市津堅島、4/18 伊江村で接種開始予定。6 月中に高齢者向けワクチンはすべて配布される予定。

((1) ~ (9) に関する主な発言)

- ✓ 沖縄県における変異株の検査数について全国に比べ少ないのではないかという意見があるが、どのような認識か。  
→沖縄県における陽性者全体に占める変異株の検査割合は 14% 全国は 32%となっており低い数値となっている。専門家会議でもっと増やすべきだとの意見があり、これまで週 1 回の検査であったのを週 2 回にする調整を行っている。速やかに検体数を増やしていきたい。
- ✓ 宮古・八重山から感染状況について報告  
宮古については、2, 3 名と徐々に増えており、夜の街関連が半数を占めている。八重山がここ数日新規感染者の発生があり、飲食関連が増えている。2 名ほど受け入れるため、急遽アパホテルでの受入を再開した。

(10) NAPP・TACO・RICCA の運用状況等について【資料 9】

- 文化観光スポーツ部から、NAPP・TACO・RICCA の状況について報告。
  - ✓ NAPP 受検者は前の週に比べてマイナスになっているが、前週と比較日数が異なるためである。
  - ✓ TACO の実績は、電話対応が 30 件、うち健康相談等が 4 件となっている。
  - ✓ RICCA の登録者数は 8 万 6 千人余り、登録施設は 1 万 1,000 件余り

と、どちらも前回と比べて増加している。サンエーが 230 店舗一括して登録している。

- ✓ 安価な PCR 検査補助の実績についても、4/1-4/8 まで検査数が 4,090 人、陽性者が 11 人となっている。対前週比で検査数 634 件、陽性者数 8 名増となっている。

(11) 緊急特別対策の効果等について【資料 10】

- 総括情報部から、推定感染源が飲食関係の市町村別陽性者数について報告。
  - ✓ 前週とほぼ横ばいで推移している。市町村別の感染者割合について、4/4-4/8 は名護市が 9%と前週に比べ増えており、飲食関連と推測される。
  - ✓ 移入例について、3 月入って増加傾向にある。

(12) 飲食店等における感染拡大対策・認証制度プロジェクトについて【資料 11】

- 総括情報部より感染防止対策・認証制度プロジェクトの概要について報告。
  - ✓ 店舗の感染防止対策の周知・運用や県民・観光客のウィズコロナ対応店舗の利用意識の醸成を目的としている。
  - ✓ 認証の手順は 2 段階。第 1 段階は県職員等による本認証制度の周知も含めた巡回指導、第 2 段階は 5 月中旬以降、感染対策チェックを行い、順次店舗を認証しステッカーを付与する。
  - ✓ 対象は県内全域の飲食店（約 12,000 店舗）
  - ✓ 中長期的な取組となるよう、民間委託等による全県的かつ持続的な巡回指導体制を構築する。

(13) 第 8 回新型コロナウイルス感染症の影響に係る経済対策関係団体会議の概要について

- 商工労働部から、4/9 開催の経済対策関係団体会議について報告。出席者からの主な意見は以下のとおり。
  - ✓ まん延防止策については、やむを得ないと理解している。影響を受ける業種には最大限の支援をするようお願いしたい。
  - ✓ (国の) 影響緩和の一時支援金について、支給対象となるのかあいまいであり、商工会議所へ問い合わせがあっても対象となるかは回答していない。飲食業以外の支援についても、国と相談し、対策本

部会議でも議論していただきたい。

- ✓ (地域指定については)市だけでなく、宜野湾市と沖縄市に挟まれている北谷町などのように、影響のある地域を面で指定していただきたい。
- ✓ 県外に向けて来県自粛を呼びかけることは避けていただきたい。
- ✓ 12月までの協力金は入っているが、1月、2月の協力金の支払いが遅れており資金繰りが厳しい、早急に対応していただきたい。
- ✓ コロナ対策のガイドラインがしっかり守られているかどうか、県及び市町村、組合が一緒になって、各店舗を厳しくチェックしていただきたい。
- ✓ 学校、保育園において、徐々に増えているとの感触がある。教育現場での感染リスクの上昇は県民生活への影響が大きいので気になる場所である。

#### ○意見への対応

- ✓ まん延防止等重点地区以外にも全県に時短の営業要請をかけることで検討していることから、それに伴う協力金については、1日でも早く支給できるよう体制を更に強化し、対応していきたい。
- ✓ 国の一時支援金の支給対象が分かりづらいということで、県においても相談窓口を設置しており、できる限り多くの業種に活用していきけるよう、周知等に取り組んでいきたい。
- ✓ 影響を受けている様々な業者への支援、来県自粛の呼びかけを避けていただきたいという意見については、対策本部会議の中でしっかりと議論していきたい。
- ✓ その他のご意見についても、コロナ感染症対策本部会議に報告し、必要な対策を講じていきたい。

#### (14) 第17回沖縄県新型コロナウイルス感染症専門家会議の概要について

- 総括情報部から、4/9開催の専門家会議について報告。出席者からの主な意見は以下のとおり。

##### 【今後の感染症対策について】

- ✓ まん延防止等重点地域から沖縄へは来ないでほしい、との文言があると観光業界は敏感に反応してしまう。その点について議論
- ✓ 渡航自粛がないと感染者は減らないため、提言案については賛成である
- ✓ 観光業界含めて危機感が薄いと思われる。N501Y 変異株については観光云々の問題ではない
- ✓ 提言案については、県が自粛をお願いできるのは沖縄県民にだけで

ある、といった異なる意見も一部あったが専門家会議全体としてコンセンサスはとれたものとし、県に提言することとする

#### 【報告事項に対する議論】

##### (1) 変異株について

- ✓ 変異株は外からやってくるものであり、ゲートコントロールをどうするかが大事である。那覇空港で検査を行っても効果的にはどうなのか、との意見があった。

##### (2) 疫学調査について

- ✓ 那覇市保健所では感染者急増に伴い、積極的疫学調査を見直す。
- ✓ 調査体制の見直しで一部機能を県コールセンターに担わせるとの案があるが、コールセンターでは臨床的判断ができない。
- ✓ 事務局はコールセンターから検査協力機関に流すことを検討

##### (3) 高齢者施設等の重点的検査について

- ✓ 陽性が多かったデーサービスを重点的に検査を実施し、次に特別養護老人ホーム、その後の対象施設は余力があれば実施した方がよい。

##### (4) その他

- ✓ まん延防止等重点措置にて強い措置をとった場合、経済的ダメージの試算等、経済の専門家の意見が必要ではないか、との意見があった。

#### 【中部病院高山医師より】

- ✓ 全国の陽性者数の推移について、宮城県が減っており、大阪府、沖縄県が急速に感染拡大が進んでいる。
- ✓ 宮城県の陽性者数を減少している理由として、変異株の割合が少ないことが上げられる。
- ✓ 沖縄は現在ギリギリの段階で、変異株に置き換わる前に封じ込めることが重要になってくる。
- ✓ 沖縄ではまだ小児の感染割合が少ないが、これは飲酒を伴う食事の場に行っていないからである。まだ初期段階で感染拡大を封じ込められる状況にあると思う。

### 3 議題

#### (1) 沖縄県の警戒レベルについて

- 総括情報部から、県判断指標等の状況について説明。【資料 13】
  - ✓ 県の判断指標の状況については、第 4 段階が 4 つ（療養者数、病床

占有率、新規感染者数、PCR 検査陽性率) 第 3 段階が 1 つ (感染経路不明な症例の割合)、第 2 段階が 1 つ、第 1 段階が 1 つとなっており、5 項目が 1 月 19 日に第 4 段階への引き上げを行った時点の数値よりも悪化している。

- ✓ 判断指標以外の状況について、重症・中等症数、入院患者数は 1 月 19 日の数値を上回っている。
- ✓ 変異株の感染状況について、これまで 62 例の変異株が確認されている。特に直近の 4 月 9 日に 26 例の報告があり、流行が懸念される。
- ✓ 県内の感染状況や医療提供体制の状況等を総合的に判断し、以下の理由により警戒レベルを第 4 段階へ引き上げ、感染拡大防止対策の強化を図る。
  - ・警戒レベルの判断指標は 4 項目が第 4 段階に達しており、数値上も 1 月に第 4 段階に引き上げたよりも悪化している。4 月以降、緊急特別対策を講じてきたが感染拡大に歯止めがかかっていない。
  - ・中等症以上の患者数や入院患者数も増加傾向にあり、20 代から 40 代の行動が活発な世代から高齢者への感染拡大を防ぐ必要がある。
  - ・県内の変異株の感染事例報告が増加し、流行の置き換わりが懸念され、変異株の拡大を抑えるための対策強化が必要である。

(2) まん延防止等重点措置の対象市町村の指定及びその他の地域の取扱いについて

➤ 総括情報部から説明【資料 14】

- ✓ まん延防止等重点措置区域は以下の理由から 9 市とする。

①那覇市

県内最大の人口が集中。3 千以上の事業所が存在し、陽性者数も増加している。

②南部地域の市 (豊見城市、糸満市、南城市)

新規陽性者数が増加しており、人口が多い南部の市については感染拡大を封じ込めるべく措置区域とする。

③浦添市、宜野湾市

今回の感染拡大において陽性者が特に多く、周辺地域から人が集まる歓楽街がある。人口集中地でもあることから、近隣の町村への伝播を防ぐため措置区域とする。

④沖縄市、うるま市

本島中部地域の中心部であり、人口及び飲食店が集中しており、歓楽街もあることから近隣の市町村から人が集まっている。新規陽性者数に

についても増加している。

#### ⑤名護市

北部保健所管内の陽性者数のほとんどが名護市で発生していることから名護市を抑えることで他の北部地域への伝播を防ぐ。さらに北部保健所管内で変異株を確認しており、感染拡大を防ぐ必要がある。

- ✓ その他市町村についても同様の対策が必要であり、飲食店等に対し営業時間短縮（5時から20時まで）を要請、不要不急の外出自粛要請を県内全域に発出し、人流を抑制し、感染拡大を早期に抑える必要がある。

### (3)「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対処方針について

- 総括情報部から説明【資料15】

#### (議題に関する主な発言)

- 時短営業要請について、まん延防止等重点措置区域とそれ以外の地域でも20時までとしたのは賛成である。開いている飲食店があるとそこに集中してしまう。
- 観光に関連する事業について、感染拡大を防ぐための対処方針の中に記載するには書きぶりについて慎重に検討する必要があるのでは、といった意見があった。(感染状況を見ながら実施等)
- 各種支援策について、対処方針に現在予算措置済みの支援策と今後実施予定の支援策の両方を記載すると複雑になるのでは、との意見があった。
- まん延防止等重点措置に係る協力金やセーフティネット資金、その他の支援策について記載する。
- 対象方針「県民への要請」の会食について、「少人数かつ短時間」は「4人以下、2時間以内」という書きぶりではないということを確認。

## 4 その他報告

- 文化観光スポーツ部より、令和3年5月1日、2日実施予定の聖火リレーの実施方法について、感染防止対策の観点から意見を求めた。
  - ✓ 保健医療部からは、各県でも実施方法を工夫しているようだが、本県においても感染対策は万全にしていきたい、との意見があった。

＜議題のまとめ＞

- ◇ 「まん延防止等重点措置」指定に伴う沖縄県対処方針について」を、文字・語句を一部修正の上、原案どおり決定し、発表することを決定。
- ◇ 各部局において、対処方針にかかる関係団体への協力依頼や市町村との連携を図り、取組を強化していくことを確認。